

地滑り箇所回避により地域の安全性が向上

・一般国道392号は、釧路圏白糠町と十勝圏本別町を結ぶ地域の交通及び物流を担う幹線道路

・白糠町上茶路地区に存在する地滑りの活発化に伴い毎年のように通行止めが発生し、地域間の移動には、通常の約3倍近い移動時間を要し、地域生活に多大な影響を及ぼしていた

・新ルートの整備により、地滑り箇所や防災点検箇所が回避され安全確実な交通が確保され道路利用者や住民の不安が解消

●通行止め発生による迂回時は、移動時間が約3倍～5倍

過去5年間で合計9回の通行止めが発生(H15～H19)

- ・一般国道392号白糠町上茶路地区では、地滑り活動により法面部に亀裂が発生し、早急な対応が必要とされる状態であった
- ・降雨時には「災害の恐れ」による通行止めを繰り返し、過去5年間で合計9回の通行止めが発生し、地域生活に多大な影響を及ぼした
- ・上茶路地区が通行止めの場合は、大きな迂回を余儀なくされ通常の約3倍の迂回時間となる。また、国道38号も同時に迂回すると通常の約5倍の迂回時間となり、利用者に大きな影響を与える

国道392号上茶路地区・国道38号通行止め履歴

年	日	時間	状況
H15年	8月9日	10時30分～17時	同時通行止め
	8月15日	大雨 災害の恐れ	5.1時間
H17年	9月7日	10時45分～17時45分	同時通行止め
	4月20日	大雨 災害の恐れ	7.5時間
H18年	5月29日	10時30分～14時30分	同時通行止め
	10月7日	大雨 災害の恐れ	7.5時間
	5月18日	大雨 災害の恐れ	7.5時間
	9月8日	大雨 災害の恐れ	7.5時間

過去5年で9回の通行止め内、4回は同時通行止め(R38)

通行止め時の迂回時間の比較



迂回時間約3倍

迂回時間約5倍

資料：釧路開発建設部

資料：H17センサス

●位置図



写真：上茶路防災地滑り箇所



●新ルートにて地すべり箇所を回避

安全で確実な交通の確保に寄与する防災事業として、平成20年3月19日に、地滑り箇所を回避する延長約2.6km区間の2車線の新ルートの供用を実施した

国道392号上茶路防災箇所空撮



新ルート

地滑り箇所

●整備による効果

通行止めの解消

地滑り箇所を回避する新ルートの完成により、今後の災害による通行止めが解消



供用後は通行止め0回

資料：釧路開発建設部

安全・安心・確実な交通の確保

地滑り箇所や防災点検箇所が回避され安全・安心で確実な交通が確保



資料：H17センサス